

△産業宣教 産業人の三つの使命(使 2:9-11)	△核心/レムナントデイ 10月学院福音化	△レムナント伝道学 レムナントが探すべき基準(使 1:1, 3, 8)						
<p>□序論_地域分析→ 300 か所タラップン、13 か所に黄金漁場を定めた(人を生かす計画をたてた)</p> <p>「70 弟子 70 地域」-主のしもべを助けて教会を生かし産業を生かす基準</p> <table border="1" data-bbox="107 292 757 379"> <thead> <tr> <th>ネフィリム戦略</th> <th>専門性</th> <th>瞑想運動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初めからあった 創 3, 6, 11</td> <td>3 団体 -最も影響</td> <td>学校に 入り込む</td> </tr> </tbody> </table> <p>マルコの屋上の間(集中)-カル、オリ、マコ-マルコの屋上の間に神様はすべてをみな注がれた。この祈りに集中しなければならない。神様の力が臨めば、門が開いて、3 千弟子が起きるのだ。ここにカルバリの丘の契約とオリブ山の約束とマルコの屋上の間がすべて入っていて、このイエス様の約束が完全に成就したのだ。</p> <p>△一つだけずっと祈ってみなさい。最も大きい答えが 70 弟子の答えが現れる。分析だけすればよい。地域を置いて本当に祈っていると神様は先に産業を祝福して、みなさんに力を与えてくださるようになっていく。この部分を最もよく成し遂げた人が、プリスカ夫婦であった。</p> <p>1. 残り者(使 1:1)-キリストで答えが出た者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ヨハ 19:30(始まり)-終わったので何も必要なくて、問題にならなくなるべきだ。</li> <li>マタ 28:16-20 天と地のいっさいの権威を持ってあなたとともにいる。</li> <li>マコ 16:15-20 わたしの名で悪霊を追い出して、病気の者に手を置けばいいやされる。</li> <li>使 1:1 前の書-キリスト</li> <li>使 1:12-15 この契約を握って完全に集中 使 2:9-11 地球上最高の答え</li> </ol> <p>2. 巡礼者(使 1:3)-神の国の背景を持って巡礼者の道を簡単に行く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>私を御座化させる。</li> <li>職業が御座化される。</li> <li>現場が御座化-現場に神の国が臨む 神の国のこと-苦しいことが起こるとき、最も難しいとき、神の国のことが成り立つ時間</li> </ol> <p>3. 征服者(使 1:8)-イエス様の約束である力によって征服</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>エルサレム 2) ユダヤ 3) サマリア 4) 地の果て</li> </ol> <p>□結論_ロマ 16:3-4</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>命をかけた。</li> <li>ローマ福音化を神様が完全に準備された。</li> <li>伝道者後援-最も大きい祝福</li> </ol> <p>決めること- 40 日(オリブ山)、10 日(マルコの屋上の間)、使 2:42(みことばを握ってひたすら祈り)、使 2:46-47(毎日宮で毎日家で)、使 18:1-4(まことの伝道者に会う最高の祝福)</p>	ネフィリム戦略	専門性	瞑想運動	初めからあった 創 3, 6, 11	3 団体 -最も影響	学校に 入り込む	<p>□序論_ 40 日、10 日集中</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>集まるたびに聖餐式-キリスト(救いに対する確信)</li> <li>集中-変わる霊的状态(再創造の働き)</li> <li>神様の絶対のこを見つけて出す特別祈り(正確な始まり)</li> <li>定刻で祈り-たましいの中に臨むことばと力(いやし)</li> <li>答え-御座の力(味わうようになる時空超越の祝福)</li> </ol> <p>金土日時代、金曜徹夜、礼拝のとき、この運動しなければならない。レムナントのときに刻印されたことは必ず出てくる。このように始めて 24 になれば 25、永遠(神の国のこと、御座の祝福)が来る。答えが来るから答えの後のことを準備すべきだ。いのちをかけてこの時間を持ちなさい</p> <p>□本論_この(序論)祈りを味わえない人がすること。だまされてはならない。</p> <p>1 誰が小さい者で偉い人か</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>小さい者の質問-子どもが一番偉い。</li> <li>質問-誤った人(すぐに懲戒せずに証人を連れて行って責めて勧めなさい)</li> <li>一万タラント、百デナリ借りた者のたとえ(救われることができないのに救われたので、赦してあげなさい)</li> </ol> <p>2 間違った質問</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>パリサイ人-離婚(マタ 5:28) →情欲を抱いた者はみな姦淫したこと</li> <li>財産-金持ち(お金で救われることは不可能) →功勞、献金で救われるのではない。</li> <li>いやし-子ども→イエス様の関心</li> </ol> <p>3 イエス様が教えられた福音の働き</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ぶどう園の労働者(賃金)-救い→努力と業績でない、イエス・キリストの御名で救われる</li> <li>死の予告-十字架につく</li> <li>間違った考え(天国に行けば誰が右、左にいるのか)-水準が低い世の中の話</li> </ol> <p>△レムナントは福音が分からない既成世代に、信徒は福音でない律法の中に陥ってはならない。</p> <p>4 エルサレム入城(霊的な目がくらんだ人々)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ろばに乗って来られたイエス様-平和を伝える者</li> <li>宮きよめ-神殿の主人</li> <li>いちじくの木のたとえ-イスラエルの未来</li> <li>権威-何の権威で神殿でむちを振り回すのか質問</li> <li>賃金を受けるためにしもべを送ったが主人の話を聞かないで主人の息子も殺したぶどう園の農夫</li> </ol> <p>5 仕上げの教え</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>結婚の披露宴のたとえ-招待に応じなかった人々、礼服を着ずに来て追い出された人々。わざわざ福音運動に関係ある話</li> <li>税金(マタ 22:21)-神様のものは神様に、カイザルのものはカイザルに</li> <li>復活を信じないサドカイ人の質問</li> <li>最も大切な戒め-神様をこのように愛してあなたの隣人を同じように愛しなさい。</li> <li>ダビデの子として来られるキリスト-来られるイエス様を主と信じたダビデ</li> </ol> <p>□結論_世々にわたる前からおられた、受肉された、復活された、再臨主として立たれるキリストを握って、暗やみに勝ってその御名で祈ること</p>	<p>□序論_レムナントが探さなければならない基準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>刻印-「見ること、聞くこと、読むこと」がみな刻印される。</li> <li>根-「生活」で刻印、傷ついたのがずっと根をおろす。</li> <li>体質-これが完全に体質になって「運命」が決定</li> </ol> <p>□本論_レムナントはどんなことを、どの程度、基準とすべきか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>福音       <ol style="list-style-type: none"> <li>キリスト-見つけること(福音はキリストがみな完了されたことを見つけることだ)</li> <li>すべてのこと-福音の他には必要ないとなつてこそ、すべてを生かすことができる。</li> <li>「神様の臨在」ということを味わう基準が福音だ。</li> </ol> </li> </ol> <p>△御名(鍵)-福音を本当に悟ればイエス・キリストの御名という御座を開く鍵を神様が与えられる。そのときから祈りが始まる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>祈り       <ol style="list-style-type: none"> <li>すべての問題-祈りはすべての問題が問題にならない。あのことを生かさなければならぬためだ。</li> <li>W, I, O-祈りは神様が私とともにおられるということとインマヌエルを味わってワンネスを成し遂げて神様のみこころを成し遂げること。</li> <li>OUR-レムナントはずっと祈れば、ただという答えが来て、唯一性が見えるように。再創造が祈りの基準だ。</li> </ol> </li> <li>伝道       <ol style="list-style-type: none"> <li>伝道を悟ればこの中にすべてがある。</li> <li>「奴隷、捕虜、属国、流浪の民」の理由を知るようになる。</li> <li>福音を分かれば時刻表も分かる(使 11:19, 13 章, 16 章, ローマに)</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_勉強(レムナント 7 人がした勉強は異なる勉強だった)</p> <p>既成世代が知らない答えを神様がくださるようになっていく。 指導者が知らない答えを神様がくださった。</p> <p>△散らされた弟子たち 神様が知っておられる弟子(使 9:10, 15)</p> <p>□序論 散らされた弟子たちと働き人は、常に質問しなければならない。「私が真に伝道する人に間違いないのか」「私たちの教会は福音を伝える教会に間違いないのか」</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>備えられた者-<b>真の福音</b> このとき、神様が備えられた者を付けられる。真の福音を持っているため       <ol style="list-style-type: none"> <li>使 16:15 「私を主を信じる者と思われぬなら」</li> <li>使 17:6 「ヤソソ」 3)使 18:1-4 備えられたプリスカ夫婦</li> </ol> </li> <li>神様の計画-<b>真の祈り</b> 真の祈りが分かれば神様の計画を知らせる       <ol style="list-style-type: none"> <li>使 13:1-4 「どこへ行かなければならない」「何をしなければならぬ」</li> <li>使 16:6-10 門を開きしても分かるようにさせる</li> <li>使 19:21, 23:11, 27:24 「ローマへ」</li> </ol> </li> <li>隠したこと-<b>真の伝道</b> また、神様はこのとき、隠したこと、隠した人、隠した財産を送られる。真の伝道を知っている人なので。       <ol style="list-style-type: none"> <li>使 18:1-4 プリスカ夫婦 2) ロマ 16:23 ガイオ 3) ピレ 1:1-25 ピレモン</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_根本、基本、基礎を直すべき 熱心程度ではない、私たちは命をかけるのだ。私たちは最善ではない、絶対だ。私たちは偶然でなく、必然だ。本当に福音の単語を握りなさい。</p>
ネフィリム戦略	専門性	瞑想運動						
初めからあった 創 3, 6, 11	3 団体 -最も影響	学校に 入り込む						

△区域メッセージ 237 か国と 5000 種族、いやし、サミット時代と私の 24 (マタ 28:16-20)	△聖日 1 部礼拝 創造の力で根源をいやせ (ヨハ 5:1-18)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 いのちのパンを食べられる神殿 (ヨハ 6:26-40)
<p>□序論_集中(集中する時間を定めなさい)</p> <p>朝ー私:神様が私に向かう計画があるから、私のために集中祈り 昼ーみなさん:思い出す人(みなさん)のために集中祈り 夜ーメッセージ:メッセージを置いて集中祈り</p> <p>△ヨセフが 237, 5000 種族を置いてずっと祈ったが、これをする事ができるように総理までなった。私たちは 237, 5000 種族をいやして、レムナントをサミットにする祈りを 24 すべきだ。</p> <p>1. 価値-ただキリストで命をかける価値を発見してそれを祈り 2. ミッション-ただ神の国のミッションを発見したから人生をかけた祈りになる 3. 証人-ただ聖霊に満たされた証人になることを祈ること</p> <p>□本論</p> <p>1. 空いたところ-神様がおもに働かれる所</p> <p>1) 世界宣教の空いたところ 2) 教会現場の空いたところ 3) 未来に対する空いたところ</p> <p>2. 準備- 237 教会の中に神様が与えられた大きな祝福は何か</p> <p>1) 三つの庭を準備すること 2) 私たちは人を連れてきて生かす霊的医者 3) キリストを代わりに説明する霊的大使</p> <p>3. 答え-神様が準備された答えは</p> <p>1) 世々にわたる前に隠しておいたことを神様があらかじめ準備しておいた 2) 祈っていれば今や現される。「助ける者、同労者、家主」として準備しておかれる 3) 神様が未来に次世代を生かす祝福を隠して私たちに与えられる</p> <p>△神様の計画は確実なので、私たちの信仰を大きくすべき。その信仰で霊的に成長して、とても働きが起ることを誰も知らずにいる。聖日は違うことをせずに集中して祈りなさい。</p> <p>△<u>創 37:11</u> -祈りの人ヤコブは世界福音化をヨセフが話すことと兄たちはあざ笑ったが、ヤコブは心に留めたとなっている。私たちの一人の祈りはとても大きな実を作り出す。科学的に確実な証拠がくる。</p> <p>□結論_何を止めたのか</p> <p>1. 奴隷 2. 捕虜 3. 属国(流浪の民)</p> <p>△私たちの次世代は奴隷に、捕虜に、属国に、流浪の民にならないように、この福音を宣べ伝えるのだ。私たちの産業、残った時刻表、未来が世界福音化できる準備ができるならば、神様はすべてを与えられる。</p>	<p>□序論_福音を知っている人は祈りを知ることになって、祈りを知っている人は世の中を変化させる。</p> <p>1. 持続的に祈って答えを受ける体験があるべき</p> <p>1) 持続的ヨケベデの祈り→モーセを通してイスラエル民族を解放させる働き 2) 持続的ハンナの祈り→サムエルを通してミツパ運動と戦争が終わる働き。 3) 心を定めたダニエルの祈り→4人の王を動かす働き 4) ガリラヤの人々の祈り→世界を変える働き(初代教会) 5) 一週間の祈り体験あるべき。信仰がなくて、できない。</p> <p>2. 38年間、病人</p> <p>1) ヨハ 5:1-祭りが関係ない。 2) ヨハ 5:10 -安息日が関係ない。 3) 立つこともできないこの病人を助ける人がいない。</p> <p>3. 病人に現れたイエス様-根源いやし</p> <p>△大きい苦しみに遭ったとき、一人で一日三回ずつ賛美して、みことばを握って定刻礼拝して祈ったが、世界福音化するように人生を変えられた。礼拝のとき、一番重要なことを持って神様に祈れば、三位一体の神様が聖霊で働かれ、暗やみが砕かれて、御使いが動員され、御座の祝福が働く</p> <p>□本論</p> <p>1. 超越的な恵み-病人を訪れられたキリスト</p> <p>1) 迷信を完全に破った時間(4 節) 2) 無能を破った時間 3) 不可能を根源的に破った時間</p> <p>2. 超越的な答え-5 つの原理</p> <p>1) キリストが完全に暗やみを打ち砕いてしまわれた 2) キリストのみことばが私に臨むとき私の霊的状態がひっくり返る 3) キリストの命令と権威が現れるので環境もひっくり返る 4) みことばを信じていやし 5) 御座の力が現れたこと-わたしの父が働いておられるので、わたしも働く(17 節)</p> <p>※1 週間みことばを握って祈りでこの五つを体験しなさい</p> <p>3. 超越的な信仰が必要</p> <p>1) 「わたしは神様と同等だ」みことば(ヨハ 5:18, 1:1, 10:30) 私たちにこの信仰が必要 2) キリストを見違えたユダヤ人-2 千年間虐殺された次世代 3) いったいイエス・キリストはだれなのか。この超越的な信仰であるべき。キリストの御名の前に暗やみの勢力は震えるのに、この体験と答えを受けるべき</p> <p>□結論_福音持っている一人の祈りは御座と宇宙を動かす時間</p> <p>△みなさんが握った契約と祈りはなくなる。</p> <p>1. 夜ーメッセージを置いて集中的に祈り 2. 昼ー思い出すまま、問題を置いて集中的に祈り 3. 朝ー私が力を得るように集中的に祈り</p> <p>△天と地と海と国々が揺り動かされる働きあるようになる。</p>	<p>祈りは霊的な呼吸だ。祈りができないならば霊的に息をできないているのだ。メッセージ受けて祈るとき、安らかに長く呼吸しなさい。力が生まれる時まで継続しなさい。するとレムナントは学業に数十倍の力ができる。</p> <p>神様が私をここに座るようにされた意味を見つける祈り(どこでも)、力を得る祈り(朝)、答えを得る祈り(夜) ー大きい力が生じるようになる。みことばを通して重要な祈りの答えを握らなければならない。それを持って一週間祈れば、それからみことばが見える。私たちが知らずに受ける答えとわざわいがある。それがさらに重要だ(マタ 27:25)。</p> <p>□序論_神殿、偶像神様</p> <p>△ダビデは神殿建築を準備したが、ソロモンは最高の祝福を受けた。ある人は、偶像神殿を作って 3, 4 代滅びる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 滅亡神殿(いやし) -滅亡神殿から出るわざわい、のろいを止めるべき</p> <p>1) 強大国-偶像神殿を作っておいて滅びるのに理由を分らない。 2) 1, 2, 3 神殿-福音、三つの庭がなくてなくなった。 3) 五つのパンと二匹の魚-奇跡を見てイエス様を王として立てようとしたので、イエス様が避けられた。弟子も揺れた。 4) 中世教会-福音がない教会は偶像神殿と全く同じだ。 5) 現代教会-福音がないから偶像だ。</p> <p>2. いのち神殿(準備) -いのちを味わう神殿準備</p> <p>1) 永遠のいのちの糧を食べる神殿準備(27 節) 2) 神様のこと(キリスト) -すべてののろいをなくすと約束されたキリストを信じること(29 節) 3) 天-まことのパン-神様が天から与えられるまことのいのちのパンを食べなさい(32 節) 4) いのちを得なければならぬ(55-56 節) 5) ヨハ 6:63 生かすのは霊で肉は無益なのだ。</p> <p>△「三位一体の神様の霊が私に臨んでください。御座の力が臨んでください。時代を変える力を私に与えてください」ずっと祈って、講壇の重要なみことばを握って祈るのだ。</p> <p>3. 次世代神殿(未来) -次世代を生かす未来神殿準備</p> <p>1) ヨハ 6:15(休息) -次世代が霊的に休息する所が必要 2) 3 つの庭(24) -多民族、次世代、病気の者が来て恵みを受けることができる 24 システム準備 3) 12 使徒、70 人-全世界、現場と国を生かすシステム準備</p> <p>△この三つ(本論)を分かれば、じっとしているのに答えが来る。分かればじっとしているのにわざわいが来る。</p> <p>□結論</p> <p>1. 教役者</p> <p>1) 世界を動かす大教区-12 時代を掌握する祝福 2) <u>70 弟子</u>-70 地域、国を動かす答え</p> <p>2. 重職者(70 倍祝福)</p> <p>3. ローマ 16 章の答え-すべての信徒</p>